

筑波大学ウエルネスクラブ

春爛漫・さくらウォーク開催

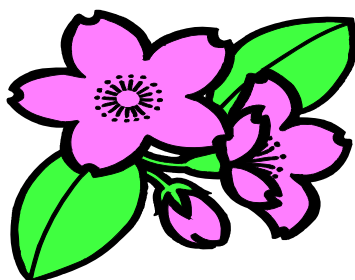
(TWC) 筑波大学ウエルネスクラブの初の試みとして、つくば市の中心を貫く桜の花がきれいな筑波研究学園都市の公園通り往復約10キロを、皆で歩こうという「春爛漫・さくらウォーク」が企画され、4月9日の好天のもとで実施された。

当日は、教室はクローズ、教室担当の膳法さんとダニエラ中野さんを初め、会員の皆さん総勢37名ほどが参加した。集合時刻10:15には、ほとんど全員がすでに南駐車場に集結し、体を動かしたり仲間と雑談したりしていた。

定刻になり、安達リーダーの指揮のもとに、入念な準備運動が行われ、準備完了、10:25 一路南の洞峰公園を目指してウォーキングが開始された。

日頃しっかり歩行の習慣が身についている人たちは、集団の先頭に立ち、集団を引っ張る形に、のんびり歩行を楽しむ人たちは集団のうしろからフォローという形で、楽しく進んだ。

途中中央公園(県立図書館)、二ノ宮公園などで、お手洗い休憩をとったが、桜はまだ散りかけた美しさを残していた。



洞峰公園には丁度12:00ごろ到着、集合写真撮影のあとは、楽しいお食事と自由行動、1時まで休憩となる。柏から自転車で4時間かけてきたという“つくばファン”のおじさんと出会う。(集合写真のシャッターをお願いした。)

前の日はひどい大雨、翌日も雨ふりの丁度中間の好天にこの催しが行われたことは、奇跡に近いことであったと考えられる。

この日に別の予定が入っていて参加できなかった会員も多かった。

中には、この公園通りがこのように美しく、北から南の赤塚公園までつながっていることを初めて体験された方もおり、教室では得られない交流の機会が得られるのでこの催しは好評であった。

今後もこのような催しはやるようにとの希望が多かった。

(文責: 矢部)